

3つのジュニア・ジャズバンドが札幌に集結し、初めての合同合宿を行いました。今回の合宿は、広尾と俱知安のバンドもゲスト出演する予定の札幌・ジュニア・ジャズスクールのファイナルライブ(2月)に先立ち、顔合わせと交流を図るためのものです。

広尾から参加の6人は、帯広駅からJRに乗車し、いざ札幌へ。

札幌駅での昼食(パスタ)のあと、駅から芸術の森へ向かう車の中では、6人で仲良くしりとりやものまねで盛り上がり、長時間の移動による疲れも見せず無事に会場へ到着しました。受付を済ませホールに入ると、広いスペースに並べられた沢山のイス、グランドピアノにドラムセットが2組。広尾の練習場所とは雰囲気の違う素晴らしい練習環境が目の前に広かり、それを見た6人は、急に緊張の面持ちとなりました。

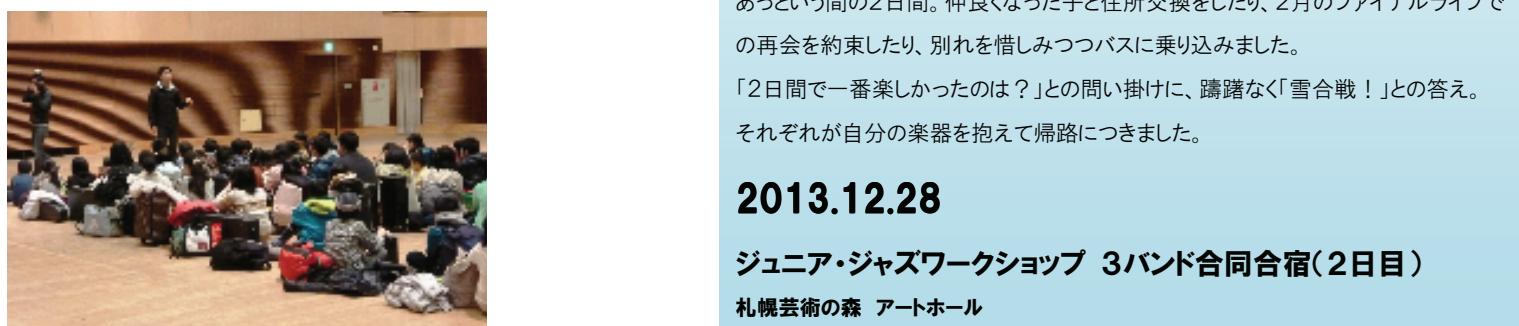
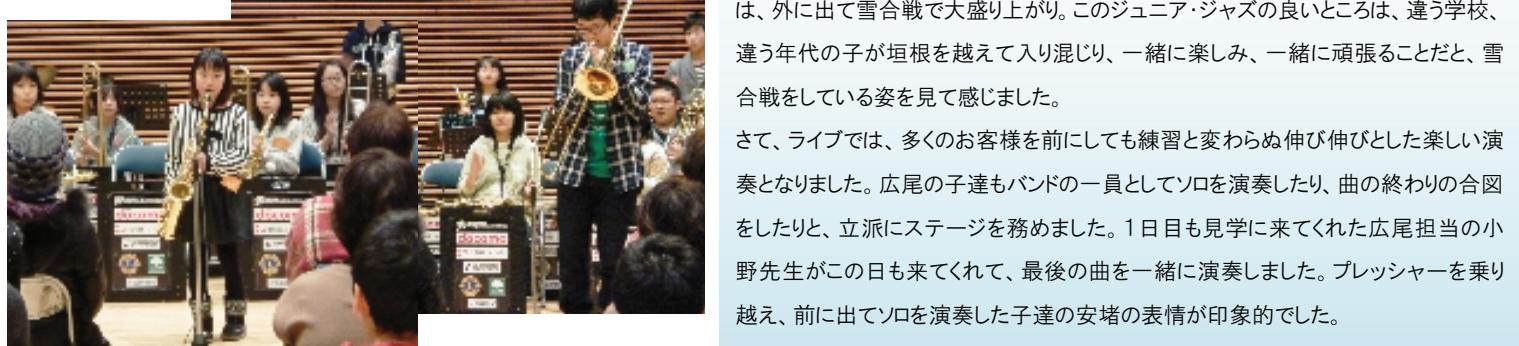
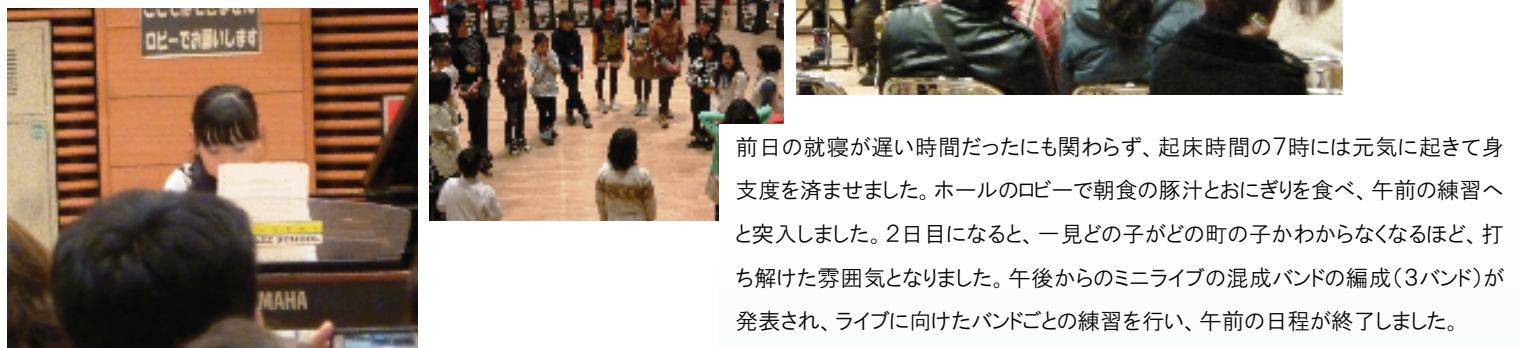
1日目は、冒頭からいきなり札幌流のレッスンが始まり、パート練習→バンド練習→夕食(ジンギスカン)→バンド練習→入浴(銭湯)→就寝準備と、怒涛のようなスケジュールが戸惑う暇もなくどんどん進められました。一人ずつ起立してのアドリブ練習で杉本先生から教わったのは、「(ソロが)終わった後のお辞儀がいちばん大事」なこと。同じパートの子がやさしく声を掛けてくれたり、グループごとの発表タイム(寸劇、創作ダンス)があったり、徐々に緊張も解け、他の町の子どもどんどん仲良くなっていくなかで、1日目は終了となりました。

2013.12.27

ジュニア・ジャズワークショップ 3バンド合同合宿(1日目)

札幌芸術の森 アートホール





前日の就寝が遅い時間だったにも関わらず、起床時間の7時には元気に起きて身支度を済ませました。ホールのロビーで朝食の豚汁とおにぎりを食べ、午前の練習へと突入しました。2日目になると、一見どの子がどの町の子かわからなくなるほど、打ち解けた雰囲気となりました。午後からのミニライブの混成バンドの編成(3バンド)が発表され、ライブに向けたバンドごとの練習を行い、午前の日程が終了しました。

昼食のお弁当を食べ、ライブ本番間近。しかし、緊張知らず、寒さ知らずの子供達は、外に出て雪合戦で大盛り上がり。このジュニア・ジャズの良いところは、違う学校、違う年代の子が垣根を越えて入り混じり、一緒に楽しみ、一緒に頑張ることだと、雪合戦をしている姿を見て感じました。

さて、ライブでは、多くのお客様を前にしても練習と変わらぬ伸び伸びとした楽しい演奏となりました。広尾の子達もバンドの一員としてソロを演奏したり、曲の終わりの合図をしたりと、立派にステージを務めました。1日目も見学に来てくれた広尾担当の小野先生がこの日も来てくれて、最後の曲と一緒に演奏しました。プレッシャーを乗り越え、前に出てソロを演奏した子達の表情が印象的でした。

あっという間の2日間。仲良くなった子と住所交換をしたり、2月のファイナルライブでの再会を約束したり、別れを惜しみつつバスに乗り込みました。

「2日間で一番楽しかったのは？」との問い合わせに、躊躇なく「雪合戦！」との答え。それぞれが自分の楽器を抱えて帰路につきました。

2013.12.28

ジュニア・ジャズワークショップ 3バンド合同合宿(2日目)
札幌芸術の森 アートホール